

【 例会・研究集会資料 原稿の執筆についてのお願い 】

(題目)

(氏名)

(所属)

上記のように資料原稿のご執筆については題目から始めていただき、下記の要領でご執筆お願い致します。

【 執筆要領 】

1. 原稿様式

- 1) 用紙サイズ : A4 版、余白上・下・右横 25mm、左横 30mm
体裁 : 1 ページ 45 字×47 行、本文の文字の大きさ 10.5 ポイント、見出しの文字の大きさ 12 ポイント
- 2) 題目 : 第 1 ページ目の上部中央にお書き下さい。
- 3) 氏名および所属 : 題目の下にそれぞれ 1 行ずつ使用し、中央にお書き下さい。氏名が複数の場合には田中一郎、山田太郎 のように並べてお書き下さい。
- 4) 概要 : 氏名・所属から 1 行空けて、(100~200 字程度) お書き下さい。
- 5) 本文 : 概要より 1 行空けてお書き下さい。執筆方法は一般の学会誌に準じていただいて結構ですが、起承転結をはっきりさせて下さい。
1. 緒言 2. 実験方法 3. 結果と考察 4. 結論 5. 引用文献
のように、各項目を明確にお願い致します。
- 6) 引用文献の書き方 : 外国人の場合は First name , Middle name の Initial と Family name を、また日本人の場合は氏名を記入すること。複数の著者の場合、全員の氏名を記入して下さい。記載の順序は氏名、雑誌名、通しページ、年度の順に、なお各号毎にページを付し、通しページのないものについては、巻(号)のように号数を () 内に記入すること。
(例) J. F. Cook, J. Electrochem. Soc., 112, 217 (1980).
田中一郎, 材料, 35, 201 (1981).
W. J. Cole, Chem. Eng. Prog., 47(4), 52 (1982).
- 7) キーワード : 下記の例を参照のうえ、第 1 ページの下段に、キーワードを 2~5 個、日本語と英語で書いて下さい。

(例)

Keywords : 応力腐食割れ Stress Corrosion Cracking、電池腐食 Galvanic Corrosion、耐食性 Corrosion Behavior、水素透過 Hydrogen Permeation

2. 図表の作成

そのまま印刷できるよう、解像度と文字の大きさに注意して下さい。

3. フォーマットについて

フォーマットは腐食防食部門委員会のホームページにもありますので、ダウンロードしてご利用下さい。部門委員会のホームページは <http://fushoku.jsms.jp/index.htm> です。

4. 今後の例会資料 CD 化を円滑に行うために、Microsoft Word による電子ファイルでの送付をお願い致します。